

## 第6回庄内支部勉強会「軽～中等度認知症を呈する方の生活を支えるための取り組みの実際」

開催日時：平成30年11月22日(木)19:00～20:45

会場：日本海酒田リハビリテーション病院

参加者数：38名

年内最後となる今回の庄内支部勉強会では認知症をテーマとして、急性期・回復期・生活期の各病期で活躍されている3名の先生方に発表していただきました。鶴岡市立庄内病院 森和浩先生からは急性期病院での認知症ケアチームでの取り組みや先進施設の視察報告についてのお話がありました。更に、BPSDの捉え方や身体拘束の弊害についても大変学ばせていただきました。回復期からは日本海酒田リハビリテーション病院 佐藤有加先生より安静度向上に向けたセンサー評価について実際の症例紹介を通して話していただき、活動性を引き出す取り組みについてとても参考になりました。介護老人保健施設のぞみの園 粕谷朋紀先生からは生活期での関わりとしてケアスタッフと情報共有し、活動に着目したアプローチを行い、ターミナルから一時脱却できた症例を発表していただきました。

後半は患者の居室を想定した環境調整、身体機能面の評価に関するグループディスカッションを行いました。それぞれ異なる病期のセラピストの知識を共有することで、患者の動作能力に配慮しつつ活動性を最大限に引き出す意見が多く発表されていました。今回の勉強会で認知症を呈する方との関わりは、いかに患者の自由を制限せずに活動に反映させていくかが重要であると感じました。発表された先生方を始め、参加された方々本当にお疲れ様でした。  
(文責：佐藤竜乃介)



